

西要寺だより

第102号 令和3年9月1日

●無常といういのちのなかで生かされている●

西要寺の掲示板には「無常といういのちのなかで生かされている」という言葉を掲げています（8月31日現在）ので、その言葉について少し話をします。

お釈迦さまは、この世の真実の相（すがた）は無常であるとお説きくださいました。この世にあるすべてのものは変化している。形あるものはいつか滅びる。生きている者は必ず死んでいく・・・つまり、私たちは死すべきいのち、無常のいのち



を生きています。そして無常なる自己、変わりゆく自己に向き合うことなく、迷い続けているのが私たちです。変わりゆく私であるのに、変わらないものを追いつけ、思い通りにならないと悩み悲しみつつ生きているというのが人間の真の姿と言えます。

お釈迦さまはそのような思い通りにならないということを苦として、四苦八苦と説いてくださっています。四苦とは生苦（しょうく）・老苦・病苦・死苦です。いつまでも若くでいたいということで老苦、病気になるたくないということで病苦、いつまでも生きたいということで死苦が生じます。生苦とは、生まれることも思い通りにはならないことです。気がつけばこの家に生まれていたのではないのでしょうか。また、愛別離苦とは、愛する者（別れたくない方）との別れが必ず来るという苦で、八苦の中に含まれます。親鸞聖人はそのような悩み苦しんでいる者のために、阿弥陀さまの教えがあることをお示し下さいました

今年もお盆が過ぎました。何軒かのお宅において初盆のお勤めをさせていただきました。その折に、無常のいのちをまさに私たちは生きている、という話をさせていただきました。

細いロープのようなものの上を歩いている私たち、足を踏み外すと真逆さに落ちてしまうにも関わらず、自分の周りの興味あるものに気をとられキョロキョロしながら歩んでいます。遙かにロープの先の方からは

阿弥陀さまの光が見えます。

阿弥陀さまの大いなる慈悲の心は、無常なるいのち、限られたいのちを生きる私たちの悲しみと切り離すことができません。迷い苦しむ者すべてを救おうとされるのが阿弥陀さまです。阿弥陀さまの光が見えるということは、この私を仏のお慈悲の心で包んで下さっているということです。そして、私自身がかげがえのないものとして真に光り輝くことができるのです。

職場や学校などさまざまな人間関係に悩み、憂鬱（ゆううつ）な日々を過ごしておられる方もおられるでしょう。自分の身体が思い通りにならないと絶望されている方もおられるでしょう。抜き差しならない問題を抱えて、眠れぬ夜を過ごした方もおられるでしょう。また目が覚めた時、今日のいのちがあることを心から感謝される方もおられることでしょう。悩みが多いだけ、苦しみが深いだけ、悲しみが大きいだけ、決して見捨てないという阿弥陀さまのお慈悲の心に包まれているのです。

無常といういのちを生きている私は、仏のお慈悲の心に包まれ、光り輝き生かされているのです

●孟蘭盆会法要のご報告●

孟蘭盆会法要は8月13日（金）14日（土）15日（日）いずれも午前11時より西要寺本堂において、お勤めさせていただきました。

本来ならご参詣の皆様と一緒にお経（『仏説阿弥陀経』）をあげて、その後、住職・前住職の話を聞いていただき、ゆっくりとお参りしていただきたかったのですが、阪神間におきましてまん延防止等重点区域となっていること、兵庫県（尼崎市）においてコロナ感染者が急増している



ということ（お盆明けには緊急事態宣言が発令されました）で、今年の孟蘭盆会法要におきましては、お焼香のみとさせていただきました。一刻も早くコロナが終息し、今まで通りの法要を出来ることを願うばかりです。法要につきまして、ご門徒の皆様のご理解、ご協力いただき、無事に終えることができたことを御礼申し上げます。

●西要寺納骨堂について

今秋（10月半ば頃）に完成する予定です。山門の西側（会館側）の部屋を利用します。そこは縦長の部屋なので、納骨堂とすることにしました、という話を前回にしました。まだ契約書を作成していませんが、利用期間を区切ります（10年間）。もちろん延長もできるのですが、10年経つと状況は変わる可能性があるということで、納骨堂の使用を継続するか、それとも合同墓に遷（うつ）すかの選択が出来るようにしました。その10年の間に使用者の方が亡くなった場合も同様で、使用者変更で引き続き納骨堂を使用するか、合同墓に遷（うつ）すか決めていただくことが出来ます。詳細は西要寺まで。

●YouTube（ユーチューブ）の第2弾を出しました

7月から始めたYouTube（ユーチューブ）の第2弾（新緑編）を出しました。今年の5月に門徒さんのお葬儀で奈良に行った時の空いた時間に、奈良市にある唐招提寺に行きました。思いがけず新緑がきれいだったので、動画を撮影しました。その動画を次女がつなぎ合わせてくれて、私が考えた言葉を載せ、BGM（音楽）を入れて、YouTube（ユーチューブ）にあげました。今後も定期的にあげていく予定ですので、宜しくお願いいたします。



西要寺YouTube ⇒

●終活：葬儀の予約

先日、ある門徒さん宅へ、奥さまの法事のお勤めに行きました。するとまもなくご主人より「相談したいことがある」と言われていまして、法事後にお話を聞きましたところ、ご主人には子どもさんがおられなく、自分の葬儀は甥に頼むつもりである。その甥がなるべく苦労しないように葬儀の段取りをあらかじめ決めておきたい、ということでした。葬儀の場所は西要寺会館と決めておられるのですが、葬儀社は決めておられないということでした。そこで、私から葬儀社に連絡しますので、葬儀の見積もりを作成されたらどうですか、ということをご提案しました。葬儀はその見積もりの通りにするというのであれば、その葬儀を託された甥御さんの負担が軽減されるということです。

●報恩講法要のお供養

10月に報恩講法要をお勤めさせていただき予定をしておりますが、その法要の時のお供養をしていただく方は西要寺までお申し出ください。近年にお身内の方を亡くされた場合は、その方を偲んでお供養されることをお勧めします。詳細については、西要寺まで問い合わせ下さい。

●新型コロナワクチンの接種

前住職と前坊守は、2回の接種済み。住職も2回の接種済み。坊守は9月10日に2回目を接種予定。9月には西要寺の寺族すべての接種が済む予定です。

◎今後の西要寺行事予定◎

【定例法座】9月22日(水)午後2時より

講師：西要寺住職

場所：西要寺本堂

【報恩講法要】

10月22日(金)23日(土)両日とも午後2時より

講師：佐々木 義英師

場所：西要寺本堂

※いずれも法要の時間は短縮させていただきます。なお、緊急事態宣言が発令された場合、定例法座は中止、法要は延期させていただきます。

なお、開催の有無等の詳しいことについては、西要寺ホームページ、西要寺の南と北にある掲示板などでお知らせします。なお、直接、西要寺まで問い合わせしていただいても構いません。宜しくお願いいたします。

ホームページ
saiyouji.com



Instagram
saiyouji.a



YouTube ⇒



浄土真宗本願寺派 西要寺

〒661-0024 尼崎市三反田町1丁目7-27

電話 06-6429-8241 FAX 06-6429-8239